

2021年11月26日

《協働対話事例紹介：住友化学株式会社》 親子上場に関わるコーポレートガバナンス上の論点についての協働対話

機関投資家協働対話フォーラム（以下、当フォーラム）を事務局として、企業年金連合会、第一生命保険、三井住友 DS アセットマネジメント、三井住友トラスト・アセットマネジメント、三菱 UFJ 信託銀行、明治安田アセットマネジメント、りそなアセットマネジメント（50音順、以下、参加投資家）の7社は、住友化学株式会社（以下、同社）に対する協働対話を実施しました。

【当フォーラムからのレター送付と協働対話ミーティング開催】

この協働対話は、投資家が考える親子上場についての問題点や懸念を伝え、企業の方針や考え方を確認するものです。2020年10月に参加投資家7社の共通見解と質問事項を記したレターを送付しました。主な質問事項は以下の3点です。

1. 親子上場という現状がグループ全体の基本的な方向感と整合的なものであるか、グループ全体の経営戦略において最適な状態となっているか。上場子会社等として維持することの理由についてご説明をお願いします。
2. 上場子会社等における支配株主と少数株主の利益相反が生じる恐れについてどう考えているか、上場子会社等の少数株主の利益まで視野に入れたグループ・ガバナンスの理念や仕組みを明確にしているか。
3. 上記のような論点について、実際に取締役会等の場でどのような議論がなされているか。

レター送付の後、同社コーポレートコミュニケーション部と当フォーラム事務局の間で開催要領等の事前調整を行ったのち、2021年1月、岩田社長ほか経営陣の方々の同席のもと、オンライン会議による協働対話ミーティングが開催されました。

【協働対話ミーティングの概要】

同社側の出席者：岩田圭一代表取締役社長、新沼宏取締役専務執行役員、佐々木啓吾常務執行役員、山内利博コーポレートコミュニケーション部長、同部 IR チーム2名
投資家側：参加投資家7社の代表者（責任投資部門責任者、エンゲージメント担当者等）
司会進行：当フォーラム事務局
(所属・肩書等はいずれもミーティング開催時のもの。)

ミーティングでは、岩田社長から、資料に基づいて、当フォーラムの質問に対する詳細な回答の説明がありました。概要は以下のとおりです。

- ①同社のグループ経営と親子上場に関する基本的な方針
- ②現時点においてグループの上場子会社はすべて経営戦略上重要な役割を担っており、総合的に見て親子上場が最適な状態であると考えていること
- ③子会社の事業運営では自律性を確保し、少数株主の権利を尊重すること、そのために子会社少数株主との利益相反を防止するさまざまな制度設計的な取組みを行っていること

さらに、同社取締役会に、上場子会社に関する多くの議案が上程され、活発な議論が行われていることや、本協働対話を前に、社外取締役・社外監査役を交え、改めて同社の親子上場についての考え方について議論し、現時点において執行部の考え方に違和感はなく、上場メリットをより明確にしていくべき、親子上場に関する会社の考え方等を統合報告書に記載すべき、など多くの意見があったとの、プロセスについても説明がありました。

その後、活発な質疑応答が行われ、同社の考え方の背景や経緯、状況、経営陣の認識など、通常の IR ミーティングでは時間的制限からできない濃密な対話が行われました。

【参加者の反応】

協働対話ミーティング終了後、同社側と投資家側双方からフィードバックコメントを取りまとめ双方で共有しました。

会社側からは、下記のような感想をいただきました。

- ・この機会に社内でも親子上場に関する考え方を改めて整理することができた。
- ・投資家の質問内容について丁寧な説明があったので理解しやすかった。
- ・様々な観点からの問題提起や提言もいただき、認識を深めた。継続的な対話を通じて改善を重ねていきたい。

参加投資家からは、下記のような感想・コメントを伝えさせていただきました。

- ・岩田社長と直接対話の機会をいただき、貴社の考え方や取組み状況を理解する大変良い機会となり、有意義だった。
- ・投資家の意見を理解しようという会社側の真摯な姿勢を感じた。
- ・事前協議における社外取締役・社外監査役の意見についても共有していただいたことが大変ありがたい。
- ・「平時」の取組みについては十分に評価できる。しかし、やはり何らかの「有事」においてどうなのかという投資家の懸念が完全に払拭されることは難しい。継続的な対話・説明をお願いしたい。

本協働対話では、会社側から岩田社長をはじめ経営幹部の方々に参加いただき、率直な意見交換ができ、共通の理解が深まったものと考えています。認識の相違が残る部分については、上記の参加者の感想にある通り、継続的な対話を通じて相互理解を深めていきたいと思っております。

連絡先

一般社団法人 機関投資家協働対話フォーラム

事務局：木村祐基、山崎直実、大堀龍介、鎌田博光

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-2-14 新槇町ビル別館第一 東京アントレサロン

メールアドレス info@iiccf.jp

以上